

《令和元年度》

第33回 下水道管理技術認定試験 受験案内

申込受付期間

令和元年6月24日～令和元年7月17日

(7月17日の消印があるものまで受付)

地方共同法人

日本下水道事業団

研修センター 管理課

《令和元年度》

第 33 回 下水道管理技術認定試験受験案内

管理技術認定試験は、**下水道管路施設の維持管理業務に携わる技術者**を対象としてその技術力を認証することにより、管路施設維持管理の健全な発展と技術者の技術水準の向上を図り、これにより下水道の適正な維持管理に資することを目的として日本下水道事業団が実施するものです。

下水道の計画設計、実施設計及び工事の監督管理、処理施設及びポンプ施設の維持管理を行うために必要とされる技術の検定を受けたい方は、下水道技術検定を受検してください。

◎受験資格

受験資格について制限はありません。**だれでも受験できます。**

◎申込受付期間及び申込方法

- (1) 受付期間 令和元年 **6 月 24 日(月)**から
令和元年 **7 月 17 日(水)**まで
- (2) 申込方法 所定の受験申込書を**簡易書留郵便**により提出してください。
令和元年 **7 月 17 日(水)**までの消印があるものに限り受け付けます。
- (3) 受験手続 詳細については、**3 ページ以降を参照**してください。

◎試験日時

令和元年 **11 月 10 日(日)**

管路施設 **9 時 00 分**から 11 時 45 分まで

◎試験地

**札幌市、仙台市、東京都、新潟市、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、
鹿児島市及び那覇市**

(注) 試験場をこれらの都市周辺に設ける場合もあります。

- (1) 試験地は、上記の 11 都市のうち受験申込者の希望する 1 都市とします。
- (2) 申込書の受理後における**試験地の変更は、認められません。**

◎試験の区分及び対象

試験区分	試験の対象
管路施設	管路施設の維持管理を適切に行うために必要とされる技術

◎試験科目及び試験の方法

次の試験科目について学科試験を行います。

試験区分	試験科目	試験の方法	
		午前	午後
管路施設	工場排水、維持管理、安全管理及び法規	多肢選択式	

◎合格者の発表

令和元年12月20日(金)

発表の方法は、日本下水道事業団研修センターの庁舎内に合格者の受験番号を掲示するとともに、日本下水道事業団のホームページに掲載します（合格発表から1ヶ月間）。

また、**合格者には書面で通知**します。

なお、多肢選択式試験問題及び正答は、試験終了後速やかにホームページに掲載します（合格発表から1ヶ月間）。

《試験科目の内容》

試験区分	試験科目	内 容
管路施設	工場排水	工場及び事業場からの排水並びに排水が下水道に与える影響に関する一般的な知識
	維持管理	管路施設の維持管理その他の管理に必要な知識
	安全管理	管路施設の安全管理に関する一般的な知識
	法 規	下水道関連法規に関する一般的な知識

下水道処理施設維持管理業者登録規程(昭 62 建設省告示 1348 号)に定める「下水道処理施設管理技士」の検定は「第 3 種技術検定」となりますので、第 3 種技術検定を受検してください。

ご 注 意

当事業団では、下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験の受験のための研修や講習会は開催していません。

研修、講習会及び受験参考書に関するお問合せはご遠慮ください。

第 33 回下水道管理技術認定試験の受験手続

◎受験申込用紙

受験申込書は、試験区分の申込用紙右の「こちら」をクリックしていただくと PDF が開きますので、A4 用紙に等倍で印刷してお使いください。

◎試験手数料（消費税込）

管理技術認定試験（管路施設） **9,000円**

◎試験手数料の納付方法

受験にあたっては、下記の試験手数料の納付が必要です。納付方法は郵便局に備付けの郵便振替払込用紙を用いて下記口座に振り込んでください。

「振替払込請求書兼受領証」を受け取り、この原本を受験申込書の所定の欄に貼ってください（ATM 利用の場合は、「ご利用明細票」を所定欄に貼ってください）。

《手数料振込先》 加入者名 日本下水道事業団研修センター
 口座番号 00160-2-80617

※ 試験手数料は、理由のいかんを問わず、納付後は返還いたしません。また、郵便振替以外での納付は、受け付けません。

【郵便振替用紙記入例】

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。	00160-2	80617
金額	9000	金額	9000
加入者名	日本下水道事業団 研修センター	加入者名	日本下水道事業団 研修センター
区分	認定試験 管路施設	依頼人	下水 道夫
試験地	東京都	住所	さいたま市中央区 公園町4-32-1 笹目マンション36号室
氏名	下水 道夫	住所	下水 道夫
〒	338-1234	日 附 印	
〒	さいたま市中央区公園町4-32-1		
〒	笹目マンション36号室		
依頼人	下水 道夫		
(ご連絡先電話番号)	0000 0000 0000		

この部分の原本を受験申込書に貼り付けてください。

下水道技術検定及び下水道管理技術認定試験では、**領収書の発行はいたしません。**

「振替払込請求書兼受領証」の返還をご希望の方は、返信用封筒（82 円切手を貼付した定形封筒）及び「振替払込請求書兼受領証」原本返還希望の旨を記したメモを受験申込書に同封してお送りください。申込書記載事項等を確認のうえ返送いたします。

◎受験申込提出書類

(1) 所定の**受験申込書** 1 部

試験区分ごとに専用の申込書を用いて、必ず**受験者自身が記入**してください。

(2) 各試験区分ごとに定められた試験手数料の**振替払込請求書兼受領証の原本**を受験申込書の所定欄に貼ってください。

◎受験申込先

日本下水道事業団 研修センター管理課

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目 5141

- (1) 申込書の提出は、**所定の封筒（角形 2 封筒）**を用い**申込書は折り曲げない**ようにしてください。
- (2) 必ず**簡易書留郵便**とし、郵便局で手続きをしてください。
- (3) 申込受付期間は、**令和元年 6 月 24 日(月)**から**7 月 17 日(水)**までです。早めに申込手続きを行ってください。
- (4) 郵便振替の日付又は封筒の消印が**7 月 18 日以降の申込書は受け付けができません**ので、ご了承ください。

◎受験票の送付

受験票は、10 月 18 日(金)までに届くよう受験申込書に記載の住所へ普通郵便（ハガキ）にてお送りしますが、その日までに届かない場合は、受験申込先へお問い合わせください。

試験当日は、写真貼付後の受験票を必ず持参してください。受験票のない方、受験票に写真の貼付がない方は受験ができません。受験票は試験中に回収します。可否に関らず写真は返却しませんので、ご了承ください。

◎受験票への写真貼付

受験票が届きましたら内容確認のうえ、写真を貼付してください。

【受験票に貼付する写真の規格】

上半身、脱帽、正面向縦 4cm、横 3cm で試験日前 6 ヶ月以内に撮影した（証明用）の写真で、裏面には必ず試験区分と氏名を明記してください。

試験ごとに申込みが必要ですので、**申込書の記入及び試験手数料の振込みは技術検定とは別途に各試験ごとにそれぞれ**お願いします。(複数受験であっても、一括申し込みはできません。)

なお、同一の企業、組織で複数の受験者がいる場合であっても、受験者ごと、試験区分ごとにそれぞれお申込み願います。

◎その他受験申込に関する注意等

- (1) 申込書受理後における**試験地の変更は認められません**ので、受験申込者自身の試験日(令和元年11月10日(日))の状況をよく考えて申込みをしてください。
- (2) 提出書類に不備(記入漏れ、誤記等)があった場合には、受験できないことがありますので、必ず**受験申込者自身が記入**のうえ提出してください。
- (3) **試験手数料及び提出書類は、受理後は理由のいかんを問わず返還しません。**
申込後の辞退は、受け付けていません。
- (4) 申込書送付後に**住所、氏名、本籍地(国籍)又は勤務先の変更**があった場合は、**下記問合せ先**にご連絡ください。
- (5) 申込書に記載いただく等により収集した**申込者の個人情報**は、受験票の発送、試験の実施、採点、合格者の決定、合格通知等試験業務遂行のために利用するとともに、合格者については合格者名簿に登載し、合格者管理のために使用いたします。なお、**技術検定及び認定試験の実施及び管理に関する事務以外には、一切使用いたしません。**
- (6) **身体に障害**があるため、受験時、何らかの措置(車椅子の使用、試験時間中の薬の服用等)を希望される場合は、**受験申込時に下記問合せ先**にご連絡ください。
なお、障害の程度、試験会場の都合等によりご要望に添えない場合がありますがご了承願います。
- (7) **試験手数料の領収書は発行いたしません。**郵便振替払込時に郵便局から返還された「払込金受領証」をもって試験手数料の領収書に代えさせていただきます。
- (8) **書面による申請は今年度限りとし、次年度からは電子申請のみとなります。**

◎受験に関する問い合わせ先

地方共同法人 日本下水道事業団 研修センター 管理課 (技術検定担当)

〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目 5141

電話 : 048-421-2076 Eメール : js-kentei@jswa.go.jp

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～17:30

下水道管理技術認定試験 受験申込書の記入例

① 払込受領証（原本）を貼ってください。
 ※払込受領証の原本の返送を希望する方は、返信用封筒に住所氏名を記入し82円切手を貼って受験申込書に同封してください。受付処理後に返送します。
 払込受領証原本は申込書に貼り付けずに、申込書に同封してください。

② 氏名、生年月日、本籍地（都道府県名のみ（外国籍の方は国籍））及び住所は、合格者名簿に記載しますので、省略したり、略字を使ったりせずに**正確に楷書体で記入**してください。

なお、氏名のフリガナは、左端から**カタカナ**で記入し、**濁点、半濁点は、1字**としてください。

下水道管理技術認定試験用 第33回

郵便振替払込受付証明書貼付欄

この部分に試験手数料8,000円の振替払込請求書兼受領証の原本（写し不可）を糊付けすること
 「振替払込請求書兼受領証」の原本の返送を希望する場合は、返信用封筒（82円切手を貼付した定形封筒）及び「振替払込請求書兼受領証」原本返送希望の旨を記したメモを同封すること

検定手数料の納付方法（受験案内を参照して下さい）
 郵便局に備付けの郵便振替払込用紙を用いて下記口座に振り込んでください
 「振替払込請求書兼受領証」を受け取り、その原本を本欄に貼ってください（ATM利用の場合は、「ご利用明細票」を本欄に貼ってください）
 《手数料振込先》
 加入者名 日本下水道事業団研修センター
 口座番号 00160-2-80617

※以下は、合格者名簿及び統計資料の作成に使用するもので、受験資格及び試験の可否とは、一切関係ありません。必ずご記入願います

勤務先(会社名)	海山産業(株) (部署名等) 水環境事業部	職	① 下水道処理施設の維持管理会社員(事業主を含む) ② 下水道管路施設の維持管理会社員(事業主を含む) ③ 下水道の設計会社社員(事業主を含む) ④ 下水道の建設会社社員(事業主を含む) ⑤ 1~4以外の会社員 ⑥ 公務員 ⑦ 学生 ⑧ その他	学歴	(次ページ記入要領参照) ① 大学院、大学 ② 短大、高専 ③ 高校、旧制中学 ④ その他
勤務先(住所)	〒330-5678 埼玉県さいたま市 浦和区浦和1-1-10	業	次の実務経験がある方は、その年数を記入してください。 下水道処理施設の維持管理に関する業務………(年) 下水道管理施設の維持管理に関する業務………(2 年) 下水道施設の設計、建設工事に関する業務………(年)	受験回数	① 初回 ② 2回目 ③ 3回目 ④ その他

(記入にあたっては、受験案内及び申込書裏面をお読みください)
 ※この申込書に記載された個人情報、下水道管理技術認定試験の実施及び管理に関する事務以外は一切使用いたしません

第33回下水道管理技術認定試験受験申込書

日本下水道事業団 理事長 殿
 尚除書類を添付の上、受験を申し込みます。

受験番号 (※記入しないでください)

平成31年 6月 24日

試験区分	管路施設	整理番号	for internet downloads
試験地	東京 (都・市)	整理番号	※
(フリガナ)	ケ・スイ	(フリガナ)	ミテオ
氏名	下水 道夫 (都)	本籍地	千葉 (都道府県名) (外国籍の方は国籍を記入)
生年月日	③(昭和) 4平成 5 9 0 6 2 7 ①(男) 2女	性別	①(男) 2女
(郵便番号)	3 3 8 - 1 2 3 4	(フリガナ)	サイタマシ チュウウク
(フリガナ)	埼玉 (都道府県) さいたま (市) 中央 (区) 町	住所	住居名・部屋番号等) 公園町4-32-1 2階 マンション306
電話番号	(*) (*) (*) - (*) (*) (*)	Eメールアドレス	Michio@gesui.com

太線で囲まれた欄に全て記入してください。なお、※欄は記入しないでください
 住所欄は、郵便物を確実に受取れる住所を記載してください

③ 試験地は、**札幌市、仙台市、東京都、新潟市、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、鹿児島市、那覇市**のうちから希望する場所を記入してください。

④ この欄は合格者名簿及び統計資料の作成に使用するものです。受験申込時現在の状況を記入してください。
 ⑤ 勤務先は会社の場合〇〇(株)又は(有)△△のように記入してください。
 ⑥ 学歴は、申込書裏面の記入要領により該当する番号に○を付けてください。
 ⑦ その他の欄は、該当する番号に○をつけてください。

(注意)
 ・ 太線の枠内には**のみ**記入すること
 ・ ※印の枠内は、**絶対に**記入しないでください。